

校長だより

和歌山市立八幡台小学校

2023.3.13

NO, 7 4

本年度も残すは8日!

これは在校生の話で、**6年生は卒業式まであと4日**となりました。全員そろって

の日々も残すところ4日です。6年生にはこの4日をしっかりと楽しんでもらえればなと思っています。また、1～5年生も6年生の姿をしっかりと目に焼き付けてくれればなと思います。今年は**1～4年生と6年生の「お別れ式」を17（金）に行います**。学年に応じていろいろ準備をしているようで、思い出に残るお別れ式となれば良いなと思っています。

そして20（月）は卒業式。3年ぶりに5年生も参加しての式となります。学校での最も大きな式ともいえる卒業式。卒業生の成長を保護者の方々とともに祝いたいと思います。また、**式の練習を通して、多くの人との関わりの中で生活している自分たち、社会の一員としての自覚、個と公の認識、そういった意識や社会性を身につけていってもらいたい**と考えています。集団の中でも自分というものをしっかりと持ち、周囲とうまく関わりながら、**集団も自分もともに成長していく、そういう行動、意識、思考を大切にしてほしい**なと思います。集団が個人を支え、個人は集団をよりよくしていく。そういった世の中になってほしいなと願っています。



<卒業式の練習風景>

ある研修会での、前帝京大学ラグビー部の岩出監督の話です。そのテーマは「平成生まれの子育て論～教えすぎない～」というものでした。その中で【褒め方】について述べている部分を紹介したいと思います。

褒め方について、

- ①褒め方に真実味があるか
- ②何を誉めるか
- ③褒めることで子どもをコントロールしていないか
- ④他人と能力を比較して褒めていないか

を意識することが大切であるとのこと。

「子どもは褒めて育てる」とよく聞きますが、ただ漠然と褒めるのではなく、この4点を意識することが大切であり、それは大変難しいことです。しかし、このことを意識して、褒め上手になりたいですね。